

2019年度 豊富小学校 校内研究

1 研究主題

自ら学びを深める児童の育成 ～授業改善と居心地の良い学級づくりを通して～

2 研究主題設定の理由

生涯にわたって生きてはたらく確かな学力を一人ひとりの児童に保障することが、学校教育の使命である。そして、これからの時代を賢く逞しく生き抜くために、知識・技能の習得はもちろん、思考力・判断力・表現力も高めながら、学びに向かう力と人間性を伸ばしていくことが強く求められている。

これらの資質・能力の育成は本校においても喫緊の課題であるが、実現のためには、「お互いに認め合い、多様性を尊重しあえる居心地の良い学級づくり」を基盤として、不断の授業改善を積み重ねていく必要がある。そこで今年度は、児童が意欲的に取り組む質の高い学びを実現する授業づくりと、授業を支える居心地の良い学級集団を構築する取り組みを両輪として、本主題「自ら学びを深める児童の育成」をめざし、学校教育目標の具現化を図る。

学校教育目標

心豊かに、かしこく、
たくましく生きる
子どもの育成
○めざす子ども像
(知) 進んで学び、
深く考える子ども
(徳) 感性豊かで、
思いやれる子ども
(体) 命を大切にし、
がんばれる子ども

山梨県の教育の動向

- 学力向上
 - ・授業力向上
(やまなしスタンダード)
 - ・家庭と連携した取組
(学びの甲斐善八か条)

地域や家庭の様子

- ・家庭や地域の学校への関心が高い。
- ・地域の学校として、地域と学校の結びつきが強い。

学習指導要領改訂(移行期間)

- 育成すべき資質・能力の3つの柱
 - ・個別の知識技能
 - ・思考力・判断力・表現力等
 - ・学びに向かう力・人間性等
- 主体的・対話的で深い学び

本校の児童の実態

- *学力向上は喫緊の課題
 - ・国語…適切な内容を取り上げて詳しく書くこと。
文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にして読むこと。
 - ・算数…理由を、根拠を明確にして書くこと。
などに課題がある。
- (30年全国学力学習状況調査より)

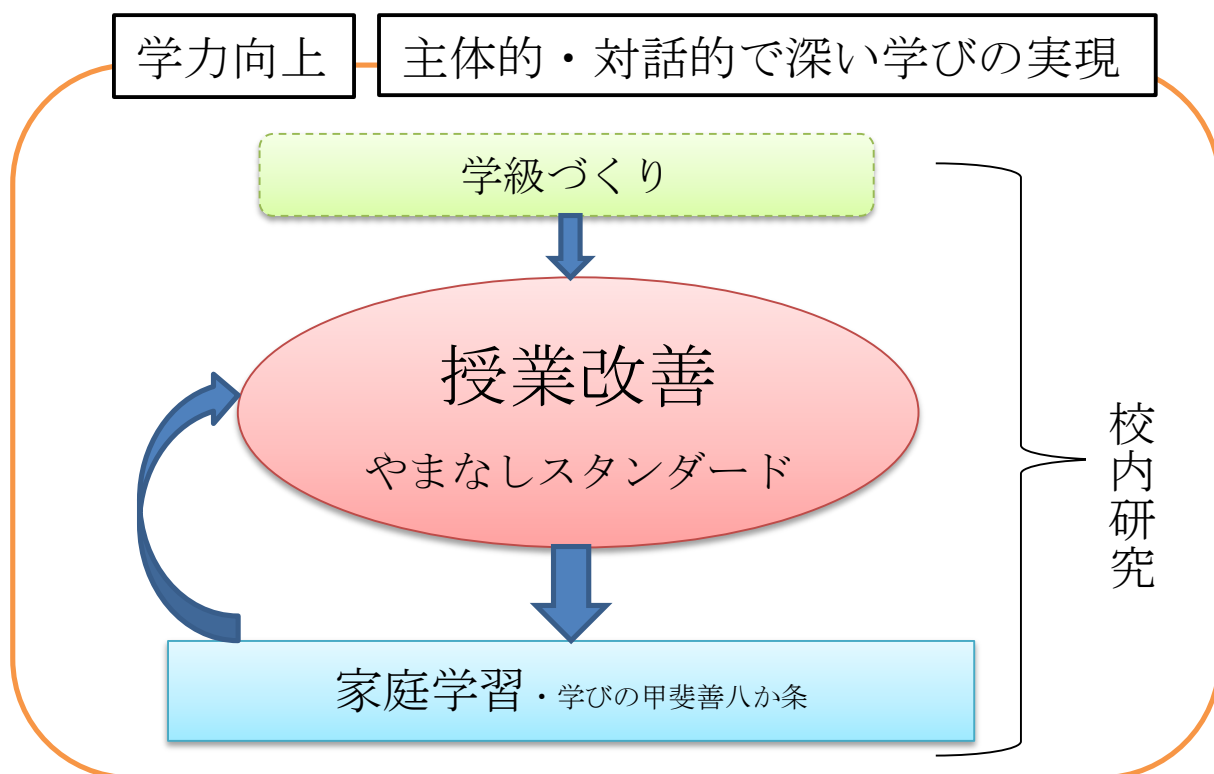
研究主題 自ら学びを深める児童の育成
～授業改善と居心地の良い学級づくりを通して～

3 研究目標

やまなしスタンダードを意識した授業づくりを通して授業を改善し、自ら学びを深める児童の育成に迫る。

Q-U 検査の分析を行うことで、クラスの状況を把握し、児童にとって居心地の良い学級づくりを目指す。

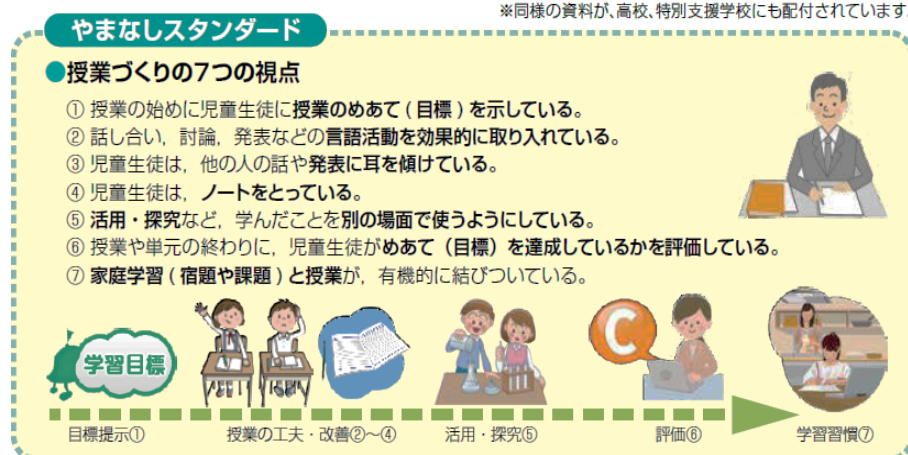
4 研究の構想図



5 研究方法及び具体的な取組内容

やまなしスタンダードを意識した授業づくりを通して授業を改善し、Q-U 検査の分析を行うことで、一人ひとりの状況を把握し、児童にとって居心地の良い学級づくりをめざす。

※同様の資料が、高校、特別支援学校にも配付されています。



(1) やまなしスタンダードを意識した授業改善

- ・今年度は、主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善に焦点を絞って取り組む。
- ・C R T等から見えた課題や自己の学習指導上の課題を受け、各ブロックで共通の取組内容を話し合う。
- ・やまなしスタンダードをふまえ、各自授業改善のめあてを決め、それに対する手立てを講じ、日常の授業改善を行う。

(計画→授業改善→評価→更なる改善の計画というP D C Aサイクルを意識する。)

- ・やまなしスタンダードをもとに、本校のスタンダード（めあてやまとめの提示・声のもののさし・話し方、聞き方など）を統一し、同じ方向で指導に当たる。
- ・2学期に一人一実践の授業開示を行い、授業の反省を行う。（学級担任・教務主任）
- ・ブロック代表による実践提案授業と事後研究会を行う。（一人一実践を兼ねる）
- ・授業開示及び実践提案授業の反省、参観者の意見、研究会で話し合われた内容等は、授業者がまとめて研究紀要に載せる。

(2) 居心地の良い学級づくり

- ・Q-U 検査の実施（5月）
- ・結果をもとに、ブロックごとにK13法による分析をし改善策を考える。

(単級中心の学校のため、クラスの悩みや改善策は、みんなで共有し、みんなで考えていく。)

(3) 家庭と連携した家庭学習習慣化の取組

学校で

- ・授業を支える取組として、家庭での学習の習慣化を図る。
 - ・宿題の工夫（量・内容）
 - ・自主学習に結びつける工夫
- (自主学習ノートの導入（各自2冊あることが望ましい）、自主学習の仕方の紹介、自主学習の展示等
- ・家庭学習と授業をリンクさせる工夫 ・声かけの工夫

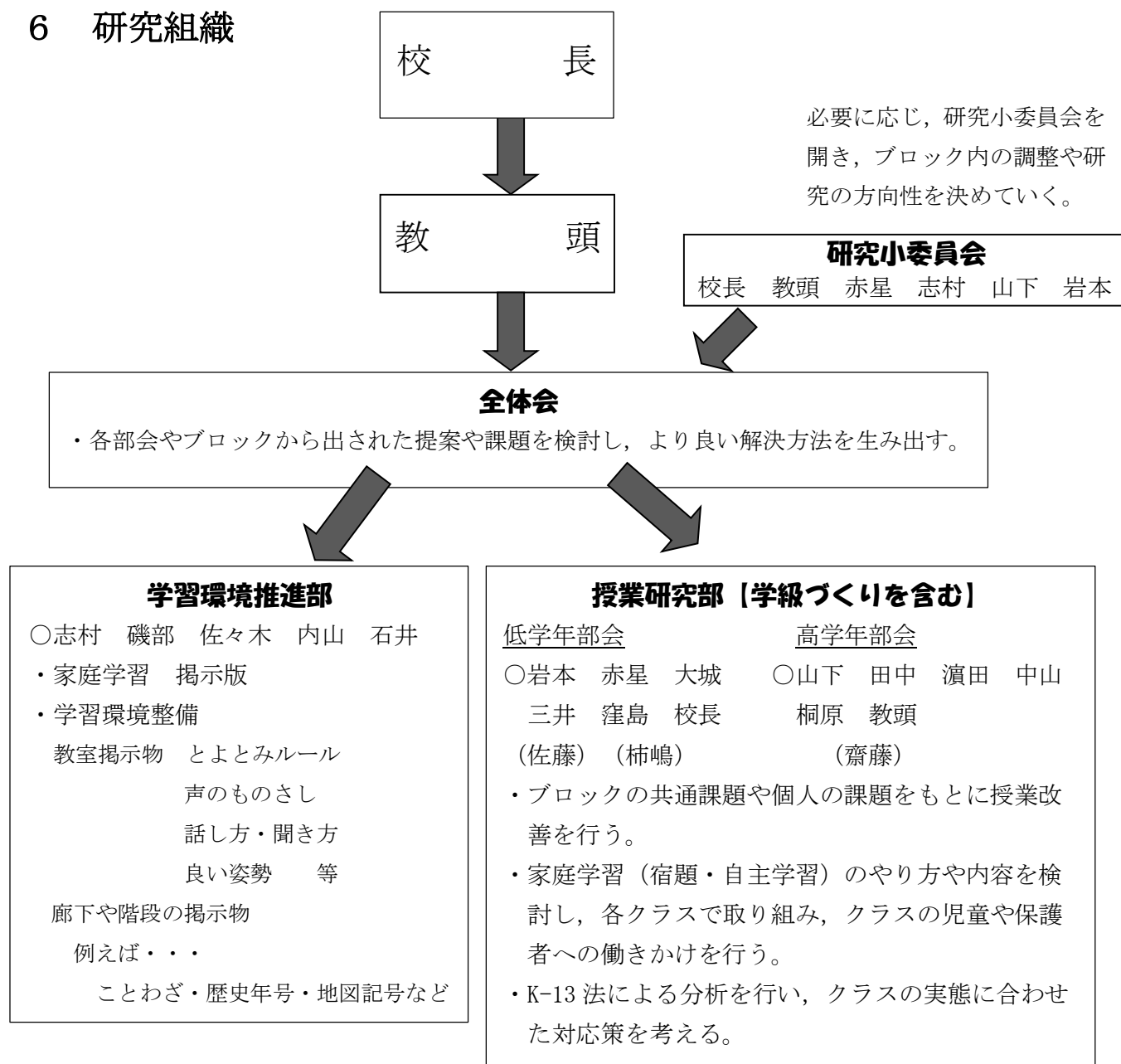
家庭に向けて

- ・学びのベースとなる家庭学習が習慣化するように、家庭と協力して取り組みを行う。
- ・家庭学習の手引きの活用（中央市版の冊子、掲示用に本校版等）
- ・家庭への声かけや情報提供（学年だより等）を行う。

(3) その他

- 夏休みの校内研究は、学習会を行う。内容について
【ex. 居心地の良い学級づくりについて（特別支援が必要な児童を含めて）など】
- 他校の研究会参加を推奨し、積極的に還流報告を行う。（校内研究の中で、もしくは回覧）
- 研究に必要な教具・書籍・講師等については、校長・教頭・事務職員と相談しながら、講師の要請、予算の獲得、教材・教具の購入を行っていく。
- 学校便りや学年便りで学校の取組を紹介したり、家庭学習の推進を呼びかけたりして、家庭の協力が得られるようにしていく。

6 研究組織



7 研究経過

回	研究日	形態	内 容	提案者・ 担当者
1	4月24日 (水)	全体会	・今年度の研究計画について (研究主題・研究内容・研究組織・研究計画の検討・決定)	研究主任
2	5月20日 (月)	全体会	・とよとみスタンダードについて 板書・めあてとまとめ 話し方・聞き方などについての共通理解 ・深い学びをめざす授業について	研究主任
3	6月26日 (水)	全体会 ブロック	・Q-U 検査の分析の仕方 (K-13 法) ・各クラスの分析と対応策	研究主任 各担任
4	7月26日 (金)	全体会 ブロック	実践提案授業に向けて (授業案の形式・観察の視点・事後研究会等)	研究主任
5	8月26日 (月)	ブロック 全体会	・学習会「K-13 法による Q-U 検査の分析から見える今後 に有効な指導法について」 長尾雅裕先生 ・全国学力学習状況調査の結果を踏まえた今後の取組につ いて	講師 研究主任 教務主任
	10月～11月		一人一実践の授業開示 (7本) 詳細は以下参照	授業者
6	10月7日 (月)	全体会	実践提案授業の授業案検討 (2本) 3年 5年 道徳	授業者
7	10月23日 (水)	全体会	実践提案授業・全体会での検証 (低学年ブロック) 3年道徳「たっ球は四人まで」 授業者 大城 有菜 講師 中央市教育指導監 有泉 昌和先生	授業者 大城 有菜
8	11月13日 (水)	全体会	実践提案授業・全体会での検証 (高学年ブロック) 5年道徳「ロレンゾの友達」 授業者 田中 淳也 講師 中北教育事務所 指導主事 越水 久也先生	授業者 田中 淳也
9	12月18日 (水)	ブロック	各部 (ブロック) の研究のまとめ	ブロック長
10	1月29日 (水)	全体会	各部 (ブロック) の研究のまとめの報告 研究紀要について	ブロック長 研究主任
11	2月19日 (水)	全体会	研究のまとめと来年度の方向性について	研究主任

授業開示（一人一実践）

月 日	内 容	授業者
10月2日(水)	4年社会「健康なくらしとまちづくり～水はどこへ～」	山下 陽子
10月2日(水)	2年算数「ひっ算のしかたを考えよう」	岩本 容子
11月14日(木)	6年1組算数「速さの表し方を考えよう」	中山 貴彰
11月18日(月)	1年算数「どちらがひろい」	赤星 美佐
11月18日(月)	6年2組理科「てこのはたらき」	志村 千秋
11月21日(木)	6年2組国語「自分の考えを持ち、伝え合おう」 いろいろな本との出会いを楽しもう～ビブリオバトルを通して～	濱田 幸一朗
12月10日(火)	2年あさかぜ学級算数「九九をつくろう」 自立活動「相手の気持ちを考えよう」	桐原 健太

